

下水道管路の全国特別重点調査の結果を公表します

～直ちに道路陥没に繋がる危険な兆候なし～

令和7年1月に埼玉県八潮市で発生した道路陥没事故を受け、国の要請に基づき下水道管路の全国特別重点調査を実施しました。このたび、調査結果を取りまとめたので公表します。なお、本件は4月21日に国土交通省が公表した全国特別重点調査結果と同一内容であり、本市に関する部分を公表するものです。

1 調査対象

平成6年度以前に設置された口径2m以上の下水道管路施設：約14km

2 調査方法

専門家が調査対象管路内を全線にわたって直接目視にて調査し、管の腐食、たるみ、破損等の劣化状況から緊急度判定を行いました。緊急度ⅠまたはⅡと判定された箇所については、道路面からの空洞調査も合わせて実施しました。

3 調査結果

○要対策延長

緊急度Ⅰ^{※1}：約2.7km 緊急度Ⅱ^{※2}：約0.5km

※1 原則1年以内に速やかな対策を実施

※2 応急措置を実施した上で、5年以内に対策を実施

○空洞調査

空洞反応：1箇所あり^{※3}

※3 下水道管路劣化との因果関係なし。補修工事済み。

今回調査において、直ちに大規模な道路陥没に繋がるような危険な状況はありませんでした。調査結果については市ホームページで公開しています。

<https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/life/002/002/002/p035184.html>



4 今後の対応

緊急度Ⅰと判定された箇所を優先して、速やかに対策工事を実施します。

また、対策が完了するまでの間、路面の状態の巡視・点検を定期的に行います。

<問い合わせ> 「下水道管路の全国特別重点調査」について

環境部下水道課長 吉岡 電話042-642-3200

「路面下空洞調査」について

道路交通部路政課長 小谷田 電話042-620-7272